# 株式会社アクア美保

## 下水道管内点検・調査用のＴＶカメラシステムに関する革新的技術（遠隔操作システム）の導入

**アクア美保（１９９２年に組織変更）は、転落や酸欠、硫化水素中毒などの安全面や感染症リスクの衛生面などが課題とされる下水道施設の維持管理を行っている。このたび、遠隔で操作可能なＴＶカメラシステムにより、こうした「重労働」「危険作業」の認識を刷新。新たなビジネスモデル展開で、商圏拡大や人材採用に挑む。**

### 会社概況

**調査実績は７００件以上、中四国地方でトップシェア**

アクア美保は１９７７年に笠岡市の浄化槽維持管理業務を行う笠岡環境保全として設立。下水道事業部を設けて、下水道維持管理に着手する。広島市佐伯区に広島支店を開設し、現在は安佐南区に移転（アクアスマート）。中四国地方で下水道施設の維持管理を約４０年行っている。下水道管路やマンホールの点検、調査を行い、異常箇所があれば修繕を行う。現在までの下水道施設の調査実績は７００件以上で、中四国地方でトップシェアを誇る。熟練した技術者やこれまで蓄積、分析してきた調査データ、ノウハウなど維持管理における豊富な経験が強み。その経験を活かし阪神・淡路大震災など自然災害時において、業界団体を通じて各自治体の要請にも応じている。



アクア美保本社

### 事業内容

**ＩＴをフル活用した革新的な技術で課題に応える**

下水道管路は耐用年数の超過、老朽化が急速に進行することが見込まれており、腐食・劣化の恐れのある下水道管路については５年に１回以上の頻度でマンホールおよび管渠の劣化度の点検を行うことが義務付けられている。増加する老朽化施設に加え、労働人口減少と技術者の老齢化が見込まれる中、限られた人員での維持管理が求められる。「重労働」「危険作業」が伴う職場環境と言われるが、ＩＴをフル活用した革新的な技術（遠隔操作システム）を導入することで、下水道管路内調査について、現場作業員の少人数化と作業の効率化、安全・衛生面といったこれまでの課題を改善。下水道事業の継続だけではなく、人材採用の強化まで視野に入れることが可能となった。



下水道管内点検・調査用のＴＶカメラシステムで地上で作業が可能

### 事業成果

**ほとんどの作業は地上から。少人数化と生産性拡大**

下水道管路の点検・調査方法は、目視もしくはＴＶカメラシステムで行われている。作業員がマンホール内に入り作業する場面も多い。

こうした中、カンツール製ＴＶカメラシステム「ロビオン管内検査システム」を導入した。最先端通信技術を搭載し、スムーズな遠隔操作を実現。特に直径１００mm―２２００mmまで調査ができ、ほとんどの作業を地上から行える。遠隔操作システムはオペレーター１人で複数の現場を管理でき、安全と衛生に配慮した作業が行える。現状の４班１６人から、７班２３人体制のＩＴをフル活用した革新的な技術を構築できるようになり、生産性拡大とビジネスチャンス拡大が図れる。



直径１００mm―２２００mm まで調査できる多様性に優れたオプション類

### ワンポイント

**女性の積極的雇用を目指す**

「人体が動脈と静脈で成り立っている様に、社会生活を営む上で上水道と下水道は重要なインフラ」と中村康徳社長は語る。近年は下水道管の老朽化に伴う調査が急がれる。こうした中、ＴＶカメラシステムにより、同社は班体制の少人数化と、女性の積極的雇用により業務の効率化を目指している。幅広い顧客のニーズに応え商圏の拡大、ブランド力の強化を図り、受注・実施件数を高めていく。



取締役社長
なかむら　やすのり
**中村 康徳さん**

### 会社概要　company profile

| | |
|---|---|
| 創　　業 | 1977年4月 |
| 資 本 金 | 3000万円 |
| 代表取締役 | 中村 美保子 |
| 社 員 数 | 84人 |
| 売 上 高 | 11億800万円（2025年3月期） |
| 所 在 地 | 笠岡市入江382の1 |
| ＴＥＬ | 0865－67－3555 |
| ＦＡＸ | 0865－67－5468 |
| ＵＲＬ | https://aquamiho.co.jp/index.html |